

演題：皮膚トラブルへの外的アプローチ
～個々の肌質の把握とスキンケア～

施設・事業所名：  社会福祉法人鳥取福祉会
特別養護老人ホーム若葉台

発表者：森崎 喬、中尾崇俊

施設紹介

(R3年5月現在)

定員数
96名

長期入所
86名

短期入所
10名

平均介護度
4.0

『一人ひとりを見つめる幸せづくり』



※使用する写真についてはご利用者・ご家族に了承を得ています

一人ひとりを見つめる幸せづくり

1階フロア

新鳥取
利用者
21名
介護度
4.1

ふるさと
利用者
23名
介護度
3.8

2階フロア

ひまわり
利用者
27名
介護度
3.8

すずらん
利用者
25名
介護度
4.6

グループの背景

平均介護度
4.68

胃瘻増設10名

経口摂取15名
(要介助12名)

アルブミン値3.5以下
胃瘻造設8名 経口摂取13名

関節拘縮の進行

皮膚トラブル(褥瘡・乾燥など)

目的

R1年度
皮膚トラブル予防・軽減

視覚的評価

- ・評価のばらつき
- ・保湿状態維持

今年度

- 皮膚状態の数値化
- 評価統一

皮膚トラブル予防

取り組みのポイント

チーム分け

- ・ 胃ろうチーム
- ・ 経口チーム

スキンチェッカーの使用

- ・ 皮膚の水分量、脂分量測定

タブレットの活用

- ・ いつでも経過が見える
- ・ 写真による経過観察など

スキンチェッカーとは？

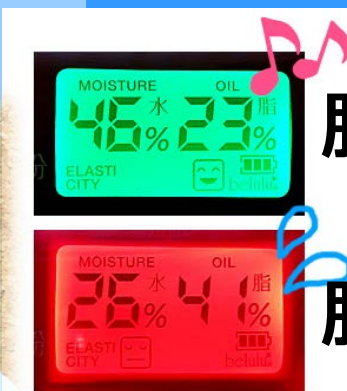
簡単肌チェック

- 肌に軽く押し当てるだけ
- スピード測定
- 肌への負担なし

2色のライト

肌の状態が良い

肌の状態が悪い



一目でわかる

水分
量

脂分
量

肌質

4つの肌質

- 普通肌
- 乾燥肌
- 脂性肌
- インナードライ

取り組みの流れ

年間計画書作成（全体）

胃ろうチーム

経口チーム

アプローチ方法検討

アプローチ方法検討

グループ全体で実施

胃ろうチームの取り組み

胃ろう増設

栄養剤

カロリー
摂取限界

栄養状態の改善困難

肌の外側からアプローチ



利用者選定

アルブミン値



体重

数値が低い利用者 4 名 (男女各 2 名)

女性

U様

90歳
26.7kg

女性

N様

85歳
35.5kg

男性

O様

89歳
44.2kg

男性

T様

79歳
38.1kg

※体重は
R2年4月現在

前期取り組み

測定部位

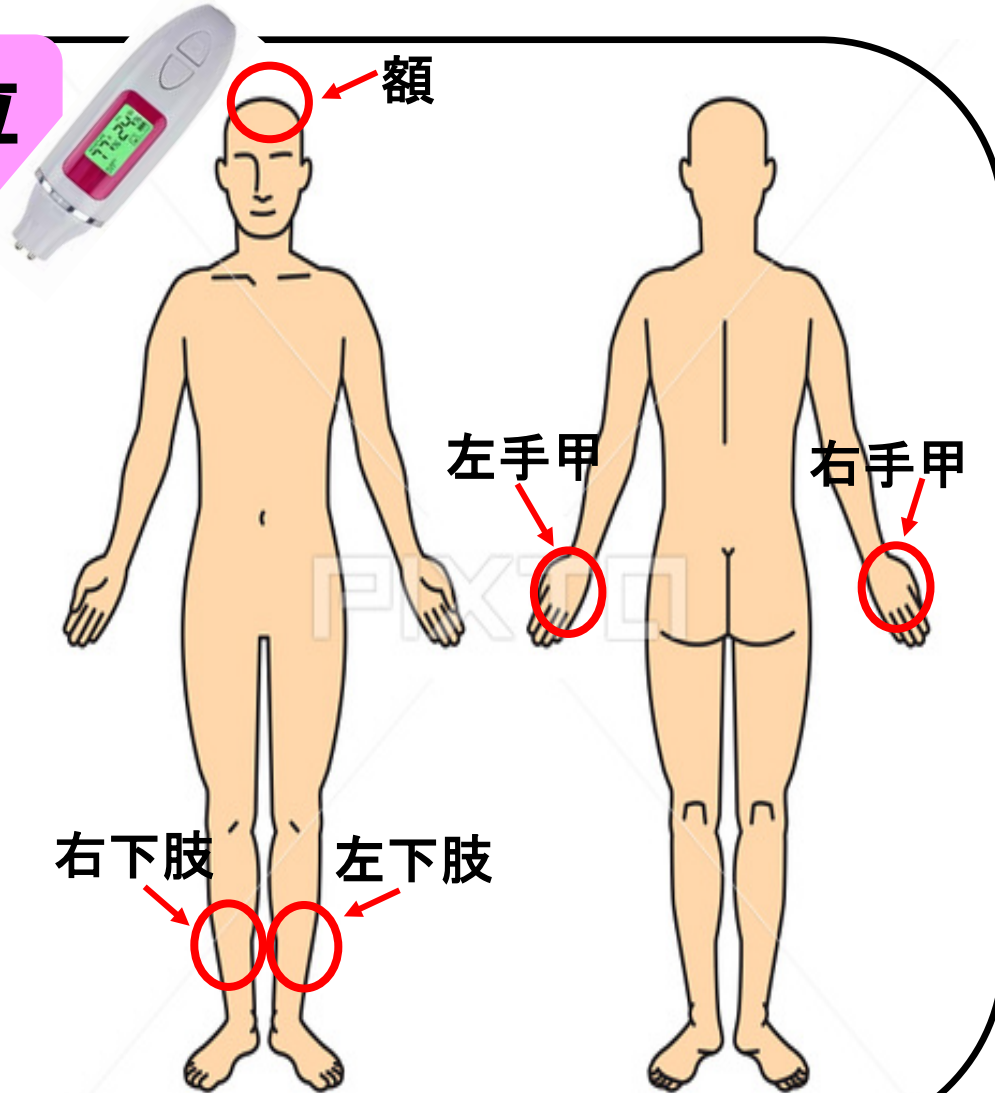
6月 5か所

7月 1か所

8月 1か所

9月 5か所

10月 1か所



アプローチ方法

- スキンチェッカー測定
- 全身の観察
- 乾燥部位⇒保湿
- 皮膚トラブル時写真撮影
- 全てタブレット入力

後期取り組み

U様

O様

測定部位

左下肢

左手甲

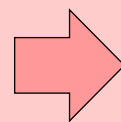
アプローチ

ミルクローション+ワセリン

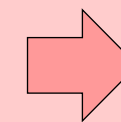
測定時間

ケア

9時



10時



ケア

21時

	1日			2日			3日		
ミルクローション+ワセリン	9時	10時	21時	9時	10時	21時	9時	10時	21時
①U様 (左下肢)	34、44								
②O様 (左手甲)	22、38								
※外傷等あれば記入	①								
	②								

水分34
脂分44

悪い状態時
赤で記載

肌の状態 良い



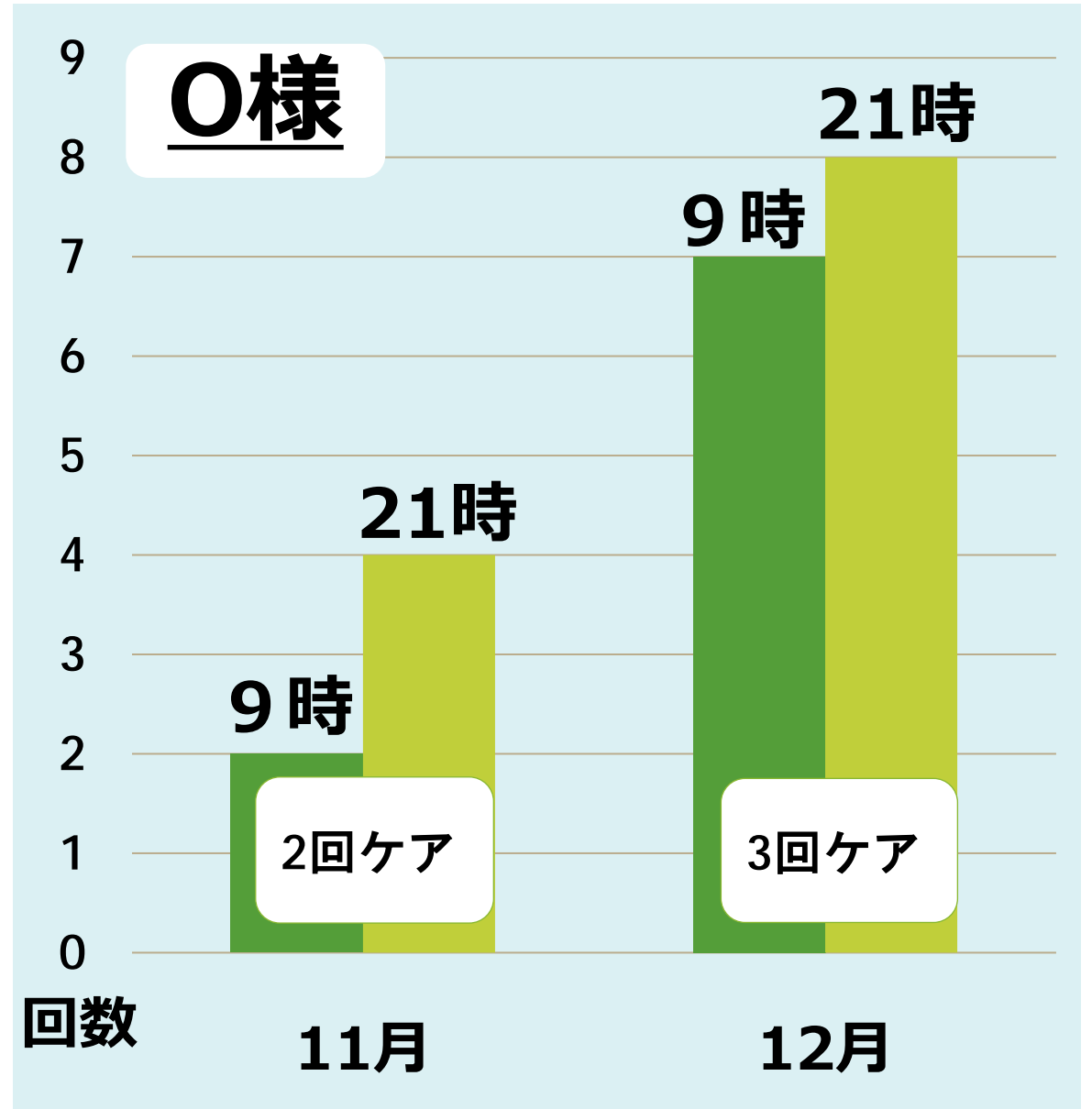
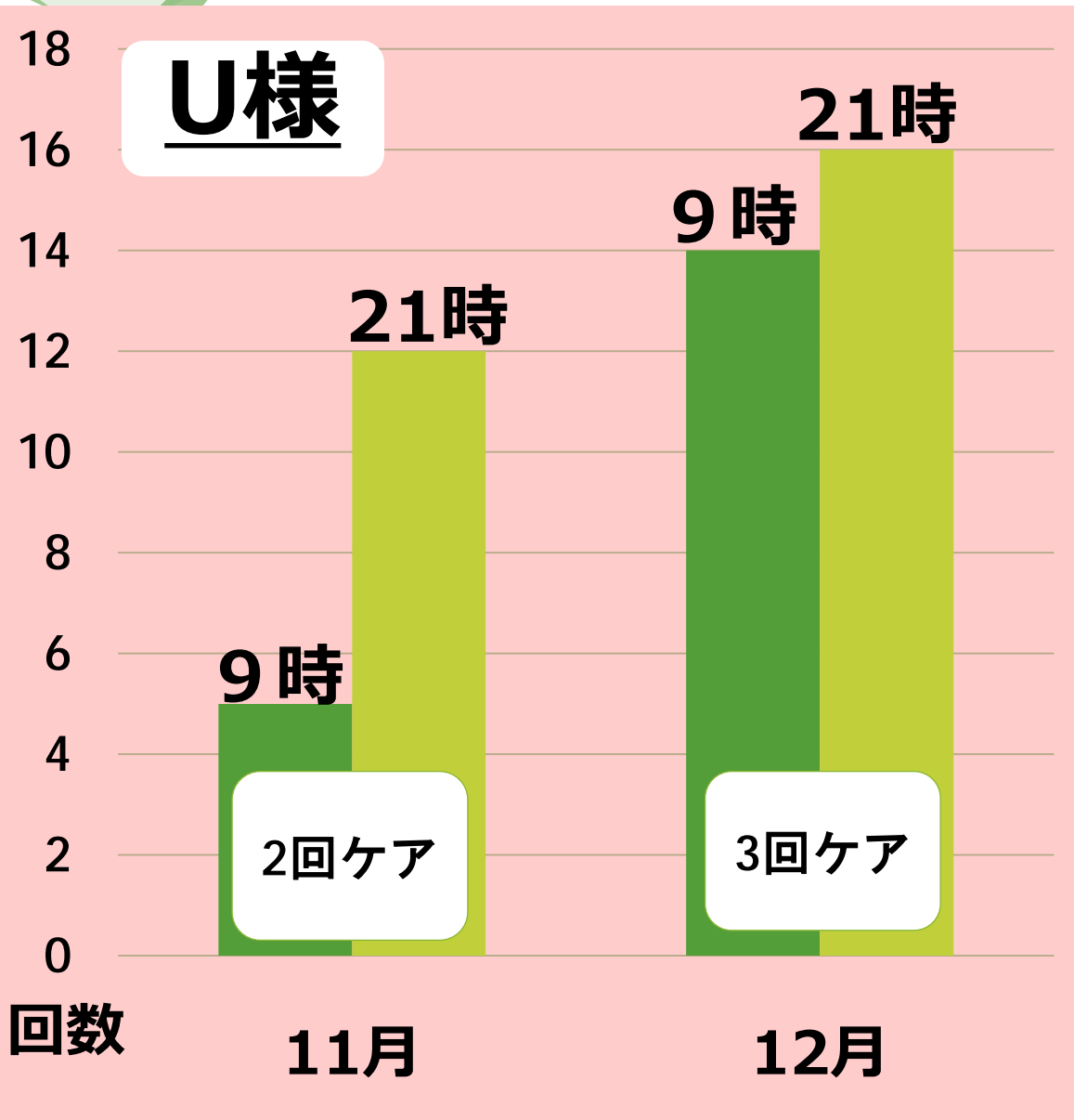
肌の状態 悪い



●水分量、脂分量共に標準値内
(緑のパネル表示)

●水分量、脂分量どちらか
1つでも標準値以外
(赤のパネル表示)

肌の良い状態回数比較



スキンチェッカー
肌質分析



U様、O様共に
水分より脂分が高い



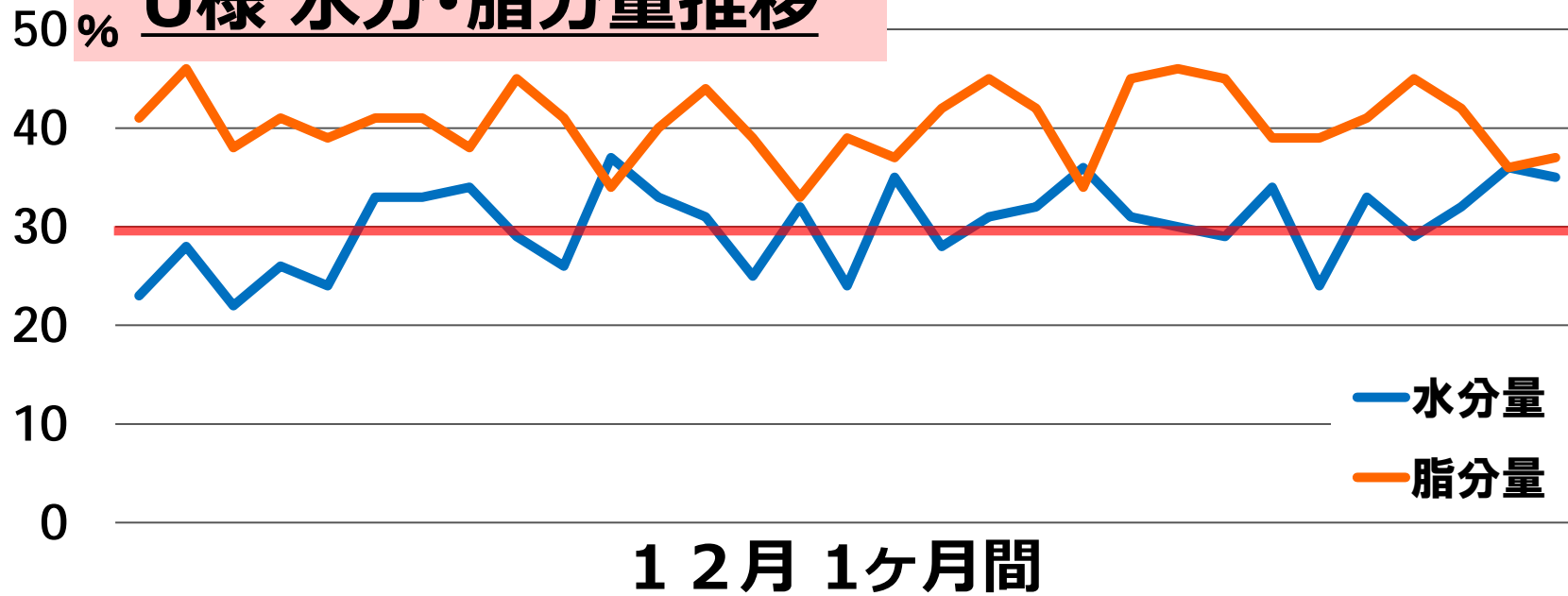
インナードライ

水分量: 10~30%

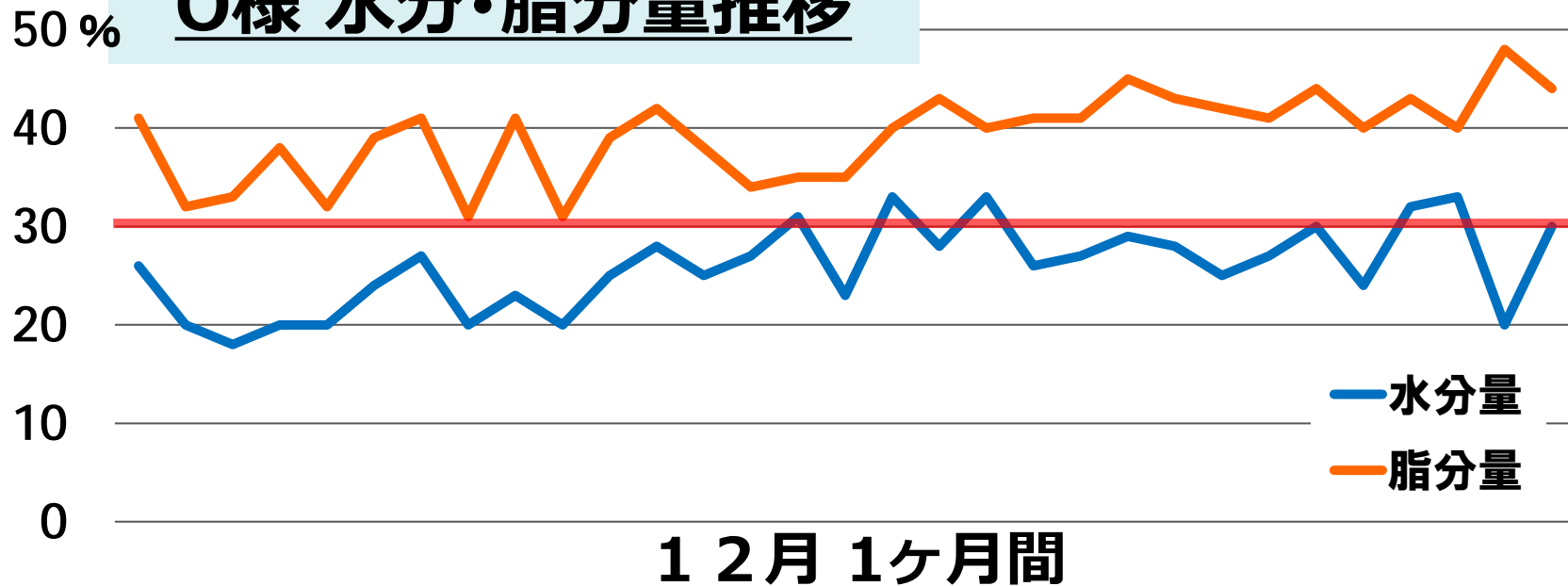
脂分量: 30~45%

深刻な水分不足

U様 水分・脂分量推移



O様 水分・脂分量推移



測定前



測定中



水分 : 21%
脂分 : 37%

インナードライ

測定結果



赤いパネルで表示



結果

肌質



インナードライ



アプローチ



外傷予防



スキンケアの継続

経口チームの取り組み（前期）

対象利用者 4名

スキンチエツカ―

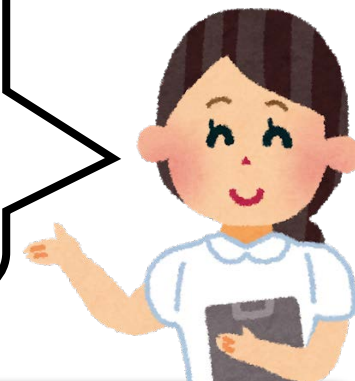
保湿

評価（1ヶ月）

継続

見直し

助言



他職種連携



前期振返り

対象利用者



大きなトラブルなし



乾燥あり



スキンケア継続

対象者以外の利用者



スキントラブルあり



多職種助言



後期への取り組み

後期取り組み

女性

M様

初



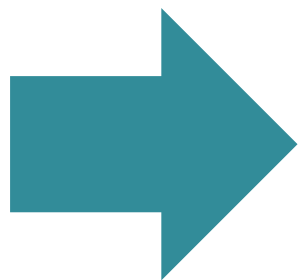
部)

全体的に悪い数値

両上下肢に乾燥

M様へのアプローチ

乾燥



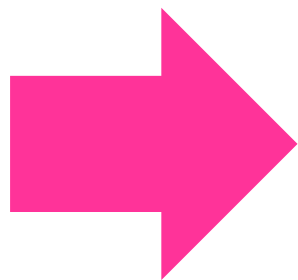
保湿

スキンチェッカー

午前

夜

褥瘡



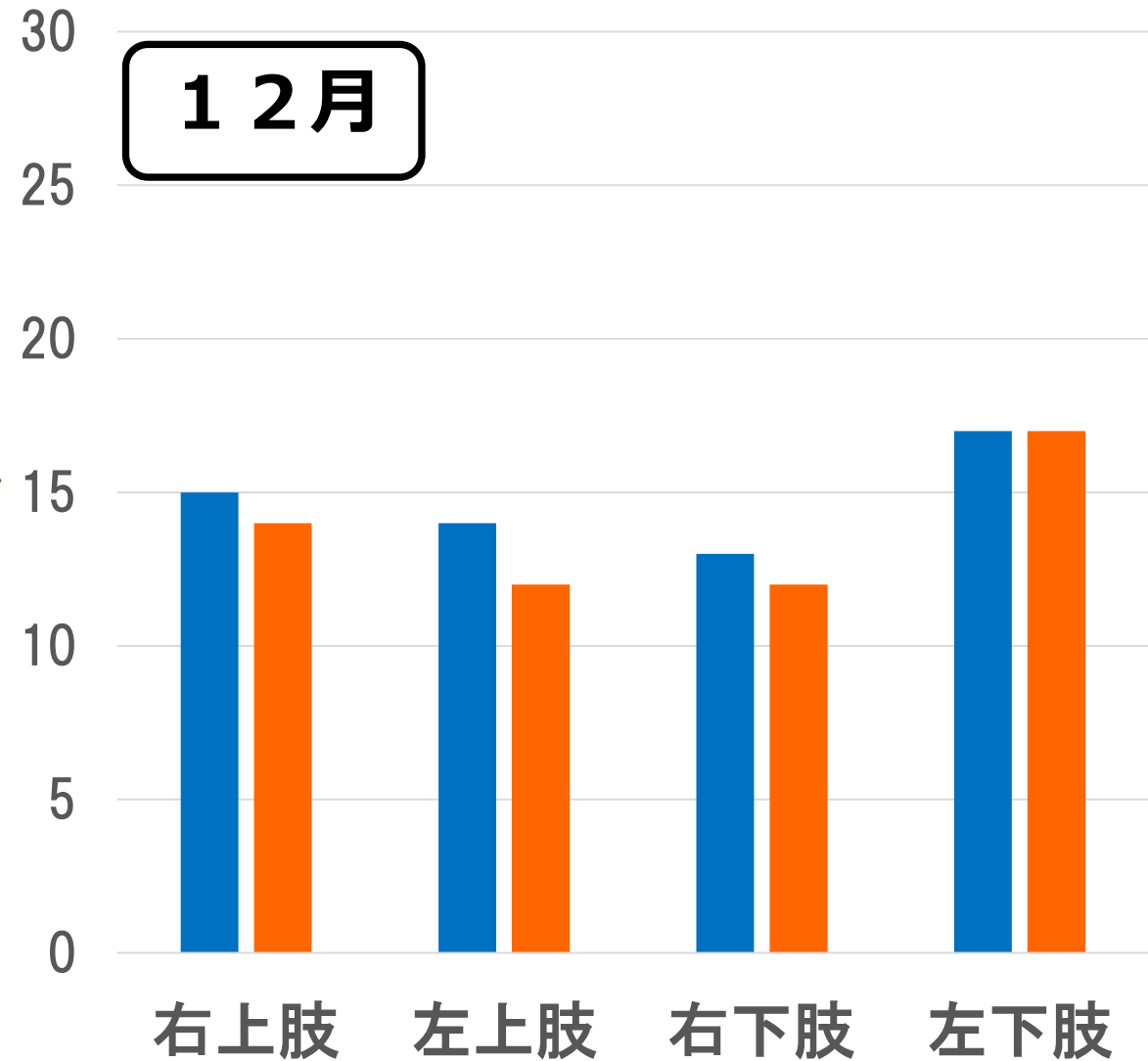
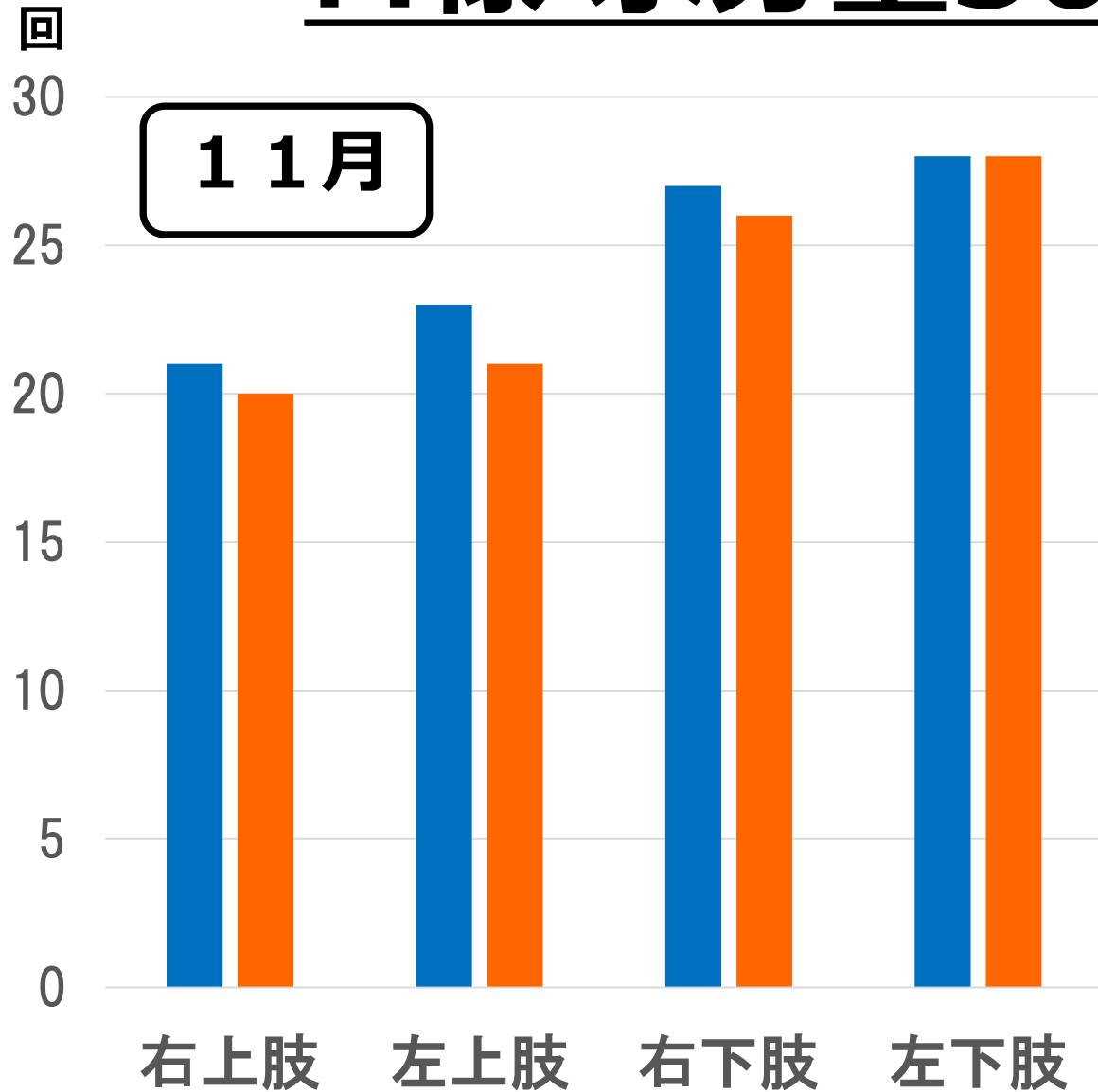
手浴

軟膏塗布

指を広げる

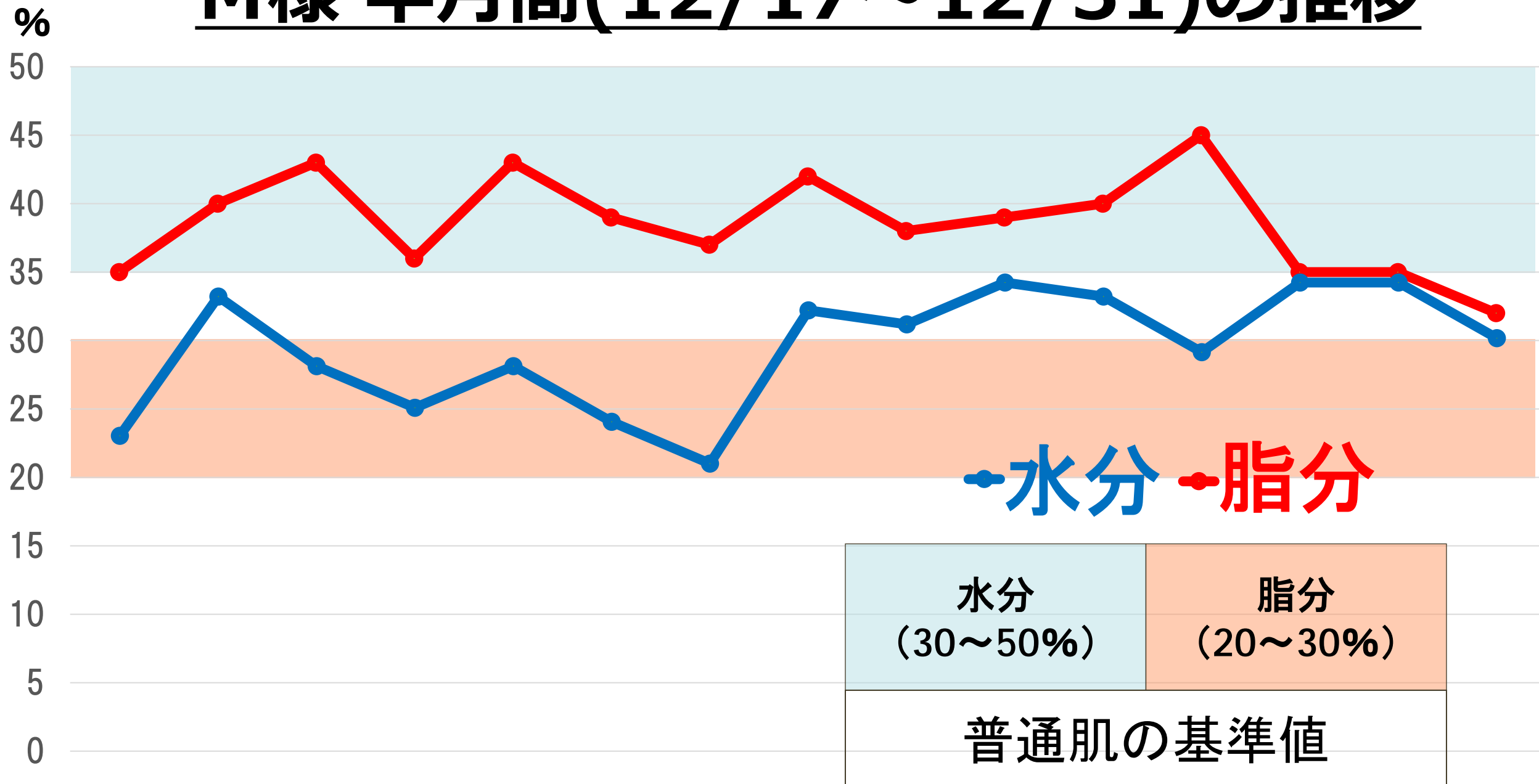
※看護師による
処置が終了後

M様 水分量30%以下の回数の変化



■ 10時 ■ 21時

M様 半月間(12/17~12/31)の推移



M様 褥瘡好発部位の改善

10月末



12月



成果

● スキンチェッカーによる肌質分析

- ・ インナードライ（深刻な水分不足）
- ・ 日常的なスキンケアの継続

● 外傷予防・褥瘡好発部位へのアプローチ

- ・ スキンケアと観察
- ・ 予防・早期発見

● 職員の成長

- ・ 自覚をもって行動
- ・ チーム力を活かす



今後の課題

● 肌質の特性を理解したケア方法の検討

- ・ スキンケアの頻度
- ・ 保湿剤の種類

● 対象利用者以外へのアプローチ

- ・ スキンケアの業務化
- ・ 業務改善



ご清聴ありがとうございました。

【本発表に関する問い合わせ先】

施設・事業所名：特別養護老人ホーム若葉台
担当者：野村智恵美
連絡先：(TEL)0857-51-7272
：(メール)wakaba@tottorifukushikai.jp